

有機水銀が排水口から阿賀野川へ

げん いん
原因

流れ④ 公害の発生

昔



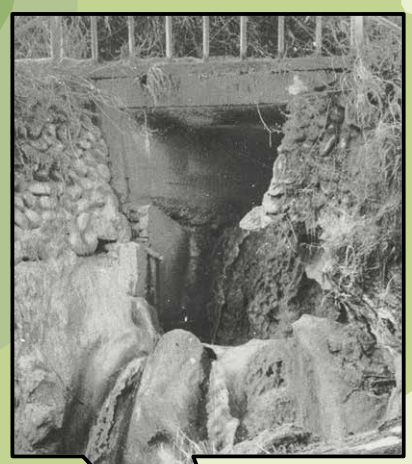
今



今の排水口は、新しく作り直された排水口です。

アセトアルデヒドを製造する施設

旧・昭和電工(株)鹿瀬工場
(現・新潟昭和(株))



阿賀野川へ流れ出ていた有機水銀

アセトアルデヒドを製造する際に使われていた無機水銀が、**有機水銀へと変化**して工場の排水にふくまれ、排水口から阿賀野川へと流れ出ていました。

こうして、旧・昭和電工(株)鹿瀬工場は、新潟水俣病という公害を発生させてしまいました。

✓ 有機水銀が発生するまでの流れ



✓ 水銀の種類・これまでの使われ方は？

3種類！

- ① 金属水銀
- ② 無機水銀
- ③ 有機水銀

…の3種類です。

今は使われなくなってきた！

- ① 金属水銀
 - ② 無機水銀
 - ③ 有機水銀
- …の3種類です。
- ▲水銀体温計
- ▲ハンコの朱肉 (※一部の高級朱肉のみ)
- ▲農薬
- ※現在では使用禁止

工場の中で起きたことを順にたどることで、なぜ公害が起きてしまったのか、わかりましたね。

公害を起こしたことは悪いことだけど、工場が大赤字に苦しんでいたことは知らなかったな。

当時の社会が大量に必要とし始めた、プラスチックやビニルなども関係していたんだね。

Q パネル25をチェック！
工場はこの後、どのような排水対策をしたのかな？

Q パネル23をチェック！
公害の発生を防ぐために、日本が行った対策は何？

